

⑦ おしゃべりの集い「絆サロン」

1963年から65年にかけてできた豊橋市の城山住宅も、順次取り壊され、高齢化になり、冠婚葬祭も家族単位になるなど地域の絆は薄れるばかり。そんな現状を受け止め、地域をよく知る城山町自治会(佐藤光頭会長)と老人クラブの城山ゆうゆう会(宮田政春会長)、そして解散したNPOいきいきサポート元理事の松井久さんが主体と

なって「絆サロン」を運営し、松井さんが運営者を務めている。毎月第2、4木曜日に城山町集会所で開いている。参加費は100円、コーヒーにちよっとしたお菓子が付く。お皿は不要なチラシを折って、作ったものを使って、作ったものを使

っている、そのまま捨てられて便利だとから保健師の朝倉博「話し合ううちに広がる友の輪」と題して講演。参加した19人はコーヒーを飲み

話し合ううちに広がる友の輪

ながら、認知症予防の脳トレゲームなどをして、楽しく和やかな雰囲気の中で認知症を学んだ。

城山町に住む松井さんは「高齢者の一人暮らしの方や、家に引きこもっている方に来てほしい。最初は初対面でも、一

みんなで学び、おしゃべりが楽しい絆サロン

緒に話を聞き、お茶して、話し合ううちに仲よくなり、絆が深まり、友の輪が広がっていきばつれしい。私たちも同じように年を重ね、いずれは皆さんに助けてもらう立場ですから」と話す。

自治会や老人会から資金援助を受け、みんなで知恵を出し合って、やりくりしている。その分、絆も深い文字通りの「絆サロン」だ。

(伊藤秀昭) ※次回は22日付掲載予定



おたがいさまの まちづくり